

# 7月園だより

令和4. 6. 22 No.1  
かきの木幼稚園  
園長 川井 直子

## えんちょうのふでばこ



「萌芽更新  
―次世代に育つ子ども達のために―  
先頃 埼玉県が公募した 緑の活動支援補助事業に本園の、自然に親しむ教育活動を応募してみたが、主旨が違ったためか、申請は通らなかった。結論は出たので、とにかく仕方がない、いつまでも嘆いてはいられない。しかし、ただで転ばずにいられるかし。  
今後、どの様にして園の、自然環境を保全して行くか、保全のためには、多額の資金も必要である。思索の末「萌芽更新に思い至る」「萌芽更新とは「人工的に手を加え木を伐採すること」をいう。雑木は、樹齢が20〜30年位で、幹の太さが40cmを越えると、萌芽更新のため、株を切ることができる。そこから、新しい芽が出て成長を待つ。  
私は、本園の子ども達の、芯から自然児の表情や遊ぶ姿が大好き。そして、その心を受けとめ一緒に遊ぶ教育を尊敬し感謝している。「自然は様々な情緒や感受性を育て、心を癒す。(ガーデニングなんて言うものではないのだ) また、自然は、子ども達に様々な知識や想像力の源泉になる。この自然は、いつまでも守って行こうと決めた。園庭の植栽もこの土地に合ったものと徐々に入れ替えるなどして新たな林に再生させ、次の世代の子ども達の才能の芽を育てることに期待しよう。」

## ～保育日誌より～

年長組	6月7日(火) 天候くもり雨
今日は、朝のうちは少し太陽の日が射していたが、10時頃はどんよりとした天気肌で肌寒い1日だった。楽しみにしていたプールは寒さの為入ることができず、集会和儀式の参加のみとなった。前でお約束の説明をしていると、子ども達はよく話を聞いてくれるように見えた為、伝わってこれたらいいなと思った。プール開きの後には皆で柿畑へ行き、さつまいもの苗を植えた。そのことよりも、信ちゃんがぶどうの間引きをしていることに興味津々で、まだ小粒の緑のぶどうを袋いっぱい詰めて込む姿が見られた。午後は、クラスで作っていた手作りプラネタリウムが完成し、お遊戯室の舞台上を真っ暗にして映し出してみた。天井に広がった星を見て「うわ〜！」と感激していた。かっこうまでの30分間があつという間で、流行りそうだなと思うのと同時に、子ども達が「チケット作る！」と展開していくのが楽しみに思う。	

年少組	6月9日(木) 天候くもり
明日の「時の記念日」にちなんで、時計の話をした。子どもたちに時間の話をするのは、難しい所もあるが身近な所から、「朝、起きる時間は何時?」「ごはんを食べる時間は?」等、問いかけながら、進めた。興味はあるようで、よく話を聞く姿がみられた。引き続き、身体測定を行った。衣服の着脱が1人で出来ない子が目立った。自分で着ようとする意欲がなく、保育者の手を待つこともあった。着せてあげるのではなく、着やすいように、手伝いながら、自分で出来るよう、声をかけながら行った。測定を待つ間、おしっこを漏らしてしまう子も目立ったので、活動前にトイレへ促すよう声かけをすればよかった。	